

子宮体癌（進行・再発） 1st Line

AP療法(Aprepitant併用)

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日間 目標コース数: 6コース

使用基準: class A

指示1: 尿量測定 毎日

指示2: 体重測定 毎日起床時

指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド 1A iv

Day1 開始から21時(約10時間)の尿量 ≤ 800mL

Day2 治療開始より24時間までの尿量 ≤ 2000mL

Day3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量 ≤ 1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意: Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること
《使用薬剤》

ドキシソルビシン(ADM): (ドキシソルビシン) 10mg・50mg/V

シスプラチン(CDDP): シスプラチン注 50mg/100mL/V、10mg/20mL/V

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ドキシソルビシン	60 mg/m ²	#VALUE!		1
シスプラチン	50 mg/m ²	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日: 1月1日 (日) Day1

- 0時00分 ① 生理食塩液 500mL
2時間で点滴静注
- 1時15分 **内服** アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) ドキシソルビシン開始1時間前頃
- 2時00分 ② 生理食塩液 50mL + アロキシ 1V + デキサート 6.6mg
15分で点滴静注
- 2時15分** ③ 生理食塩液 50mL + **ドキシソルビシン 0mg**
全開 10分以内で点滴静注
- 2時25分 ④ 生理食塩液 50mL
5分で点滴投与(全開)
- 2時30分 ⑤ 生理食塩液 600mL + **シスプラチン 0mg**
2時間で点滴静注 0.0mL
- 4時30分 ⑥ 生理食塩液 500mL
2時間で点滴静注
- 6時30分 ⑦ ソリタ T3号 500mL × 3
6時間(2時間×3)で点滴静注

Day2~3: 1月2日 (月) ~ 1月3日 (火)

起床後 **内服** アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

- 2時15分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 3.3mg
15分で点滴静注
- 2時30分 ② ソリタ T3号 500mL × 3
6時間(2時間×3)で点滴静注

REFERENCE

Marcus E. Randall, Virginia L. Filiaci, Hyman Muss, Nick M. et al : J Clin Oncol (24) :36-44 2006
Randomized Phase III Trial of Whole-Abdominal Irradiation Versus Doxorubicin and Cisplatin
Chemotherapy in Advanced Endometrial Carcinoma: A Gynecologic Oncology Group Study
2012年11月度化学療法プロトコール審査委員会承認: 2012年11月12日 更新: 2016年7月14日